

グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2017意見交換会議事録

1. 日 時 2017年10月20日(金) 15:00～17:00
2. 場 所 中央公民館泊分館 大会議室
3. 出席者 【来賓】 公益社団法人 日本グラウンド・ゴルフ協会 会長、事務局長

【チーム代表】

韓国：(社)大韓グラウンドゴルフ協会 会長、事務局長
中国：上海市老年人体育協会グラウンドゴルフ委員会 会長、主任、理事長
台湾：中華民國グラウンドゴルフ協会 理事長、副理事長
スペイン：スペイングラウンドゴルフ協会 会長、副会長
フランス：1名
モンゴル：モンゴルナショナルグラウンドゴルフ連盟 会長、副会長、役員
ポーランド：Agi グラウンドゴルフ協会 会長、他2名

【関係者】

株式会社アシックス 部長
湯梨浜町 国際大会実行委員会 委員 1名

【主催者】

湯梨浜町長、副町長、教育長、生涯学習・人権推進課長、みらい創造室長、
企画課 国際交流員、みらい創造室主事
鳥取県地域振興部スポーツ課長、主事

1. 開会

副町長： それでは、このたびは、グラウンド・ゴルフ国際大会 YURIHAMA 2017 に御参加いただき、まことにありがとうございました。ようこそおいでくださいました。ただいまより、グラウンド・ゴルフの国際化に向けての意見交換会を始めさせていただきますと思います。

(自己紹介) なお、終了時刻を16時30分としております。短い時間ではございますが、御協力をお願い申し上げます。御発言は、簡潔にお願いいたします。

本日、出席いただきました皆様を席順に紹介します。

【各出席者を紹介】

皆様方には、後ほど御意見を伺いたいと存じます。

2. あいさつ

副 町 長 : それでは、まず初めに、この意見交換会の開催趣旨をあわせて、湯梨浜町長が皆様に御挨拶を申し上げます。

町 長 : どうも皆様、お疲れさまでした。

一 同 : お疲れさまでした。

町 長 : 今日のスコアは、いかがでしたか。お疲れのところ、ありがとうございます。

今日のこの意見交換会、これまで私どもといろいろ交流させていただいて、解決しなければならない課題が、やっぱり幾つかあるなということを感じております。やっぱり国際的に、みんな共通のルールにしても、用具の基準にしても、それから、それを達成するための国際的な組織の設立にしても、そういうことをきちんとできるようにしていくことが、これからの課題であるということ、皆さんの、これまでの話し合いの中で認識しています。

今日は、皆さんの忌憚のない御意見をお聞かせいただき、将来に向かって、この輪がより広がりますよう、強固になりますよう祈念いたしているところでございます。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

副 町 長 : ありがとうございます。

3. 来賓あいさつ

副 町 長 : 続きまして、御来賓の方より御挨拶を頂戴いたしたいと存じます。公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会 会長様にお願いしたいと存じます。会長様、よろしく願いいたします。

日本 GG 協会長 : 今日は、グラウンド・ゴルフの世界的な連帯を図る、とても重要な会議だと思うんですが、町長さんは、国際組織を作りたいという非常に強い熱意をお持ちです。これには、我々日本グラウンド・ゴルフ協会もいろいろと御協力すべきだと、そういうふうに私も強く感じております。

それぞれの世界で、いろんなグラウンド・ゴルフの発展の経緯なり、国におけるいろんな事情があろうかと思えます。それを1つにするには、とても難しいことだと思いますけども、ここでいろんな意見を出していただくことによって、その方向性が見えると思えます。国情の違い、民族、いろんな言語の違い等々ありますけども、どうぞ皆さんの御協力で国際組織ができ上がることを願っております。

今日は申しわけありません。私は4時過ぎにちょっと失礼いたしますけども、私どもの事務局長がずっとおりますので、ぜひお帰りの時には、名刺を全て事務局長に渡していただき、今後のいろんな皆さんの連携を図りたいと思えます。よろしく願いいたします。では、よろしく願いいたします。

(拍手)

副 町 長 : ありがとうございます。それでは、グラウンド・ゴルフの国際化に向けて4つの議題について、鳥取県及び湯梨浜町より御説明します。その後で、各国の御意見を伺いたいと思います。

また、お話と通訳の順番ですが、それぞれ通訳が必要となりますので、少しお話しいただいた後、その国の通訳の方が日本語に通訳いただき、その後、それぞれの通訳の方が各国の母国語で説明をいただきたいと思います。ここからは、司会進行を町長にお願いします。よろしくをお願いします。

町 長 : はい。それでは、失礼ですけれども、司会進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

4. グラウンド・ゴルフの国際化に向けての意見交換

(1) ワールドマスターズゲームズ2021 関西について

町 長 : まず、議題の第1番目に挙げておりますワールドマスターズゲームズ2021 関西についてでございます。鳥取県スポーツ課の課長様のほうから、現在の現時点の計画等、実施日等について御説明いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

県スポーツ課長: (自己紹介)鳥取県は、湯梨浜町と一緒にあって、グラウンド・ゴルフの海外への普及を進めているところです。そして、グラウンド・ゴルフ発祥の地であります湯梨浜町の、先ほど皆さんがプレーされました潮風の丘とまりをグラウンド・ゴルフの聖地として、日本全国、あるいは世界中に知れ渡るように取り組みを進めているところです。グラウンド・ゴルフを愛する者として、皆様の今後一層の御協力をお願いできたらと思います。

それでは、私のほうからは、ワールドマスターズゲームズについて御説明をいたします。この横長の資料をご覧ください。よろしいでしょうか。ワールドマスターズゲームズは、30歳以上の方であれば、誰でも参加ができる大会であります。4年に1度開催されます。今年はニュージーランドで開催がありました。そして、4年後の2021年には日本で行われます。これは世界最高峰のスポーツの国際大会となります。これは、この大会にエントリーをすれば、どなたでも出場できますし、1つだけではなく、複数の競技に出場することができます。2021年の5月に、日本の京都や大阪など関西地方を中心に、32の競技が開催されます。これは、アジアで初めて開催されるものでありまして、参加者が5万人というのを目標にしております。

鳥取県では、柔道、自転車、アーチェリー、そして、グラウンド・ゴルフが開催されます。初めに、繰り返しになりますが、複数の競技に出ることも可能ですので、興味のある方は複数の競技を楽しんでいただければと思います。この潮風の丘で行われるグラウンド・ゴルフは、このたびの大会と同じく2日間で行われます。参加人数は650人を予定しておりまして、今日、この大会と同じく1日

目に3コース、2日目に1コースを回るという予定にしております。この世界最高峰の大会に、ぜひ皆様の、今日お集まりの各国の皆様の御参加をお願いしたいと思います。

あわせて、この湯梨浜町で行われております、グラウンド・ゴルフ国際大会もまた続くと思いますので、湯梨浜の大会も、また来年も来ていただければと思います。簡単ですが、以上で私からの説明を終わります。

町 長 : はい。ありがとうございました。ただいま、県スポーツ課長のほうからワールドマスターズゲームズ2021関西について御説明いただきました。皆さんのほうから、御質問等ございましたらお願いいたします。

ス ペ イ ン : 今650人が参加されるということでしたけれども、日本人と外国人とそれの、何ていうんですか、割合とか比率とか。

町 長 : 比率は、多分650人規模ですと、今回の大会もそうしたんですけども、海外の方たちを主体に考えて、日本人が過半でほとんど占めるというような形にはしたくないと思っています。ですから、日本人のほうは、ある程度たくさん参加されることも予想されますけれども、そういう時には制限を設けて、なるべく海外の方にお越しただけのようにしたいと思っています。

ス ペ イ ン : リミットは。

町 長 : グラウンド・ゴルフも私どもがやっております発祥地大会というのが、780名程度定員にしておりますけれども、それをやる場合には、基本的には抽選ということでやっぱりやっています。それで、例えば、国によってうんと差があったりして、1つの国が出れないというようなことはあってもいけないことですから、そういう場合には、多い側のほうに制限をつけさせていただくと、そういう考え方かなと思いますけども。

モ ン ゴ ル : 1つ質問がございます。650名参加予定と聞いておりますが、年齢の制限とか、年齢の区別はありますか。

町 長 : それは、30歳以上の方がワールドマスターズゲームズ関西への出場対象年齢です。ですから、逆に子どもたちのほうが出れないということになります。

モ ン ゴ ル : 30歳以上ですけども、80歳の人とちょっと差があると思うので、その力というか、才能がという感じで、もしよかったらそれをもう1回考えてもらえませんか。年齢区分を分けて欲しいということです。

町 長 : 年齢区分をですね。何歳以上、何歳以下の人とか。

モ ン ゴ ル : そういふのがあればいいと思います。

町 長 : またそのことについては、今後この会を通じて考えるようにしましょうか。基本的には、なかなか運営上難しいことがあったりしたら無理かもしれませんが、一応検討するというところで、では、基本そうさせていただきますでしょうか。その他ございますか。よろしいですか。

それでは、またもっとたくさん御意見の出そうな課題もありますので、とりあえず次へ移らせていただきたいと思います。なるべくこの2021年のワールドマスターズゲームズ大会を、ぜひ世界大会ですので、皆さんの多くの参加をお願いいたしたいと思います。

(2) 国際組織について

町 長 : それでは、次にグラウンド・ゴルフの国際組織について、これを私のほうからちょっと説明させていただきます。いきなり大きな問題でございますけれども、こういう議論をしっかりとやっていながら、みんなの意見をちゃんと反映できる形で、国際協会設立に持っていったらなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

韓 国 : すみません、2番目の話題に入る前に、町長さんにちょっと質問があります。このたびはグラウンド・ゴルフ国際大会への参加に当たり、皆様が韓国から、あるいは他の国から来られましたけれども、湯梨浜というところは、景色とかすごくきれいなところなんですけど、交通の便では物すごく不便なところがあります。今回も大阪経由で来ていますが、湯梨浜の皆さんも朝早くから迎えに来ていただきました。実際来てみると、本当に田舎ってところで、すごく交通の便が不便だなあと思うところがありました。それで、このたびも、我々の交通手段とか、あとは宿泊のこととか、ある程度支援していただきました。

2021年のその大会の時も、このたびと同じくそういう面で宿泊とか交通費とか支援していただけるんでしょうか。

町 長 : 実際上、そういう難しい課題を抱えていると思っています。基本的には、こういう大会ですと個人負担が原則になるんですが、そうは言っても、遠くの国から高い飛行機代を使って来られるということになると、やはり幾ばくかの支援は守っていききたいという気持ちを町は持っております。ですから、そのようには努力したい、そういう気持ちです。

例えば、韓国ですと、今ソウルから米子への便が飛んでいますよね。そうした場合に、釜山からソウルまで新幹線で行かれたりする経費の支援と経済性あたりも考えて、どういう方法がよいのか検討させていただくということはいけないかなあということも、勝手に今思っているところでございますけれども。

韓 国 : それは韓国国内の交通費の支援ですか。

町 長 : 結局、それと私どもが空港まで迎えに行ったりする経費との兼ね合いですね。その関係で、幾らかかっているかということですけども、なかなか国内でソウルまで行ってから、米子空港へ入ってくる方法は難しいところです。米子空港に入ってくださいますと、1時間ちょっとで迎えに行けますし、例えばその際に、町のマイクロバスを使ったりということもあり得ると思いますので、できればそういう方法も頭に入れながら一緒に考えていただけないかと思っていますところですよ。

韓 国 : そうですね、先ほど、町長さんに無理なことを言って申しわけございませんでした。あと、私は大韓民国のグラウンドゴルフの会長として、湯梨浜、皆様さんに対してちょっと羨ましいことがあります。韓国では、64の団体があります。その64の団体の中に、グラウンド・ゴルフがあります。グラウンド・ゴルフがありますけれども、政府とか地方とかの支援は全くなく、韓国のグラウンドゴルフ協会の自立で運営しております。そういう意味で、日本のグラウンド・ゴルフ協会の皆様がとても羨ましいと、支援とかいただいてすることが羨ましいです。

このたびは、なぜこういう質問したかという、韓国に帰って、皆さんから責任者として、会長の責任として、韓国に帰って、2021年の大会に、たくさんの韓国の人を参加させようと思うんですが、ちょっと無理なところがあります。年齢も皆さん高い、高齢者がたくさんいますけれども、経済力もちょっと欠けております。自分たちの負担で、全く100%負担で、2021年の大会に参加させることがちょっと無理じゃないかなあと、今、支援ができるかどうかをある程度把握して、来られる人たちのその状況を分かっておけば、確実に参加できるじゃないかという気持ちで、さっきのことを質問しました。以上です。

町 長 : よくわかりました。

モンゴル : 町長さん、国際連盟に話を戻しましょう。話が盛りだくさんあると思いますが、この貴重な時間を、皆さんが集まったこの機会を利用して、国際連盟の話に集中しましょう。

町 長 : はい。今、韓国の会長さんがおっしゃいましたことも大変な状況としてあるなということ認識しております、それを何とかするために、例えば、領事館ですとか、外国の領事館で日本にあるところとか、あるいは大使館筋ですとか、そういうところに、「こういう大会をします。健康寿命のためにもとてもいい大会です。こういう国々が参加されます」ということの情報をお流ししながら、「何とかその支援することを考えていただけませんか」とお願いするような取り組みをこれから今年の下半期にすることにしておりますので、そのような努力で、人も協力して少しずつでも各国の足並みが揃って、なるべく来ていただけるような体制ができるように努めたいと思っています。

中 国 : 簡単に、ちょっと私の姿勢を示したいと思います、中国の代表として。先ほどおっしゃったんですけれども、私たちはもう自分の力を尽くして2021年の大会に向かって頑張っていきたいと、協力していきたいというふうに思っています。先ほどおっしゃったんですけれども、参加者のことについて、限定の人数が出るということになるんですけれども、中国としては、できればたくさんの参加者で、参加させていただきたいというふうに思っています。

町 長 : はい、ありがとうございます。

それでは、先ほど御指摘もごさいますので、本題の国際組織の設立についてお話しさせていただきたいと思います。湯梨浜町では、これまで皆さんと交流させ

ていただく中で、いろんな御意見を聞きながら、やっぱり先ほど申しました用具の問題ですとか、それから、お互いの交流を進めていく上で、国際的な組織の必要性というのを強く感じております。安全な用具を使って、世界中で同じルールでグラウンド・ゴルフが楽しめること、そのようにしていくことが、グラウンド・ゴルフを国際的なスタンダードとして広めていく近道じゃないかと思っているからでございます。

それで、現在のところは、日本協会の御意見をいただきながら、どういう格好がいいのかということを考えているところでございます。この青色のペーパーを見てください。日本語で申しわけないですが、6ページに基本形ということで、書かせていただいております。

ここで、世界グラウンド・ゴルフ連合ということで、とりあえず国を代表する組織が、このたびの韓国さん、あるいはモンゴルさんのように1つできていれば、それで国を代表する組織構成ということも考えられるんですけども、そうっていない国もあります。そこで、基本的にはその地域の協会単位でも参加できるような形で、国際連合という、グラウンド・ゴルフ連合という形がいいのではないかと考えています。その際、会長を町長、名誉会長を鳥取県知事、顧問を関係団体・機関がして、理事ということで書いております。

これは、もちろん確定した案ではございません。これからこれをたたき台にして、御議論いただければというふうに思っております。ここの会長を湯梨浜町長としておりますのは、とりあえず2021年の大会がここ湯梨浜町であるので、当面基本的な形ができるまでは、湯梨浜町がその役割を果たさなきゃいけないんじゃないかなということを考えて、湯梨浜町長ということで入れさせていただいております。本来的には、顧問として日本グラウンド・ゴルフ協会あたりを想定してるんですが、日本協会の会長になっていただくということも必要な時期が来るだろうというふうにも思っています。その辺の忌憚のない意見をお聞かせいただきたいと思っております。

それから、各国の方には、基本的には、この組織はあくまでもその設立当時のものをイメージしたものですから、設立後何年か経って、どこかの国の方がまた会長をされるということは別段支障はないというふうにも思っています。理事に、各国の現在参加しておられる国々の方になっていただくのがいいんじゃないかと。今回の国際大会、あるいは今、国を交えてのお互いの交流大会も大分行われるようになってきましたので、その際を通じて、理事のメンバーの皆さんと中身を詰めていくという形を作ればなということを思っているところです。

それで、とりあえず連合を作って何をするかということですけども、次のページ、8ページに書いてございます。そこに書いておりますように、グラウンド・ゴルフの普及振興、国際公式ルールの普及指導、国民相互の交流や親善、これの事務をやって便宜を図るというようなことでございます。現在のところ、私ども

が把握している団体は、その7団体、そこに書いてあります。そういう団体があるわけなんです、これを基本ベースで組織立てを行って、それぞれまた組織を設ければ、負担金はどうするかとか、いろんな課題が出てくると思います。そのあたりの議論を進めたらと思っているところです。

概要はそのようなことですが、役員につきましても、会長がいて、顧問がいて、名誉会長がいてということじゃなくて、例えば副会長も置くというようなこともあるのかもしれませんが、その辺も含めて、それから、国際連合が取り組むべき内容についても、皆さんのほうから御議論があれば、いただきたいと思います。

ただ、この機関で難しいのは、各国あるいは各組織によって構成員の数も違いますし、貨幣価値も違うようなところもあって、じゃあ負担金をどの程度の額を集めるのかとか、そういったことはこれから議論して、とりあえず原型だけ、今日は御意見をいただいておけば、その後は、また先ほど申しました理事会の構成メンバーのような形で議論を進めていけばというふうに思っております。

ポーランド：今日は、いい天気にも恵まれてよかったです。日本の自然の中で大活躍することを描いています。本当にきれいだと思います。ヨーロッパを代表して来ました。

1カ月前に、ポーランドでグラウンド・ゴルフの協会を初めてヨーロッパで設立することもできました。ポーランドは、ヨーロッパの中心にあります。ヨーロッパとしてスペインの皆さん、フランスの皆さん、あとポーランドの皆さん、ヨーロッパの皆さんも応援を、同じ考えを持っていると思います。

2つの意見があります。1つは、国際組織の設立も大変喜ばしいものであります、会長は日本の湯梨浜町長さんになって欲しいと思っています。また、副会長もいろいろ責任感を持つので、副会長も入れて欲しい、作って欲しいと思います。これに、モンゴルの会長はどうですか、皆さん。スポーツを通じて、専門のスポーツなので、ルール作る、あと、世界中で同じくスタンダードを作る時、基準を作るのに、この人がいいと思います。それと、2019年に、ヨーロッパオープングラウンド・ゴルフ大会を開催したいと思いますので、皆さん、ぜひ積極的に御参加をお願いします。

また、アシックス様に協力していただきたいことがあります。これから、クラブを作りたいと思いますが、これを許可してください。以前から、アシックス様とアポが取れないのです。我々として、ヨーロッパとして、ポーランドとして、クラブだとかボールを作ることをこれから進めていきますので、これの許可をアシックス様にお願いしたいのです。彼女（ポーランドの同席者）を担当にしますので、アシックス様、1回時間をください。そして、この国際組織ができました、我々も協力をして、一役を果たしたいと思っています。よろしくお願いします。

町長：ただいまの意見の中で、具体的な人の役職員についての御意見もございましたが、これにつきましても、その他のお国の方のほうで、何か御意見等ございましたら、まず最初をお願いしたいと思っています。

中 国 : ありがとうございます。まず、町長さんのそういう国際連携の機構を設立するという考えは、私は大賛成です。とてもいいと思います。

中国は、グラウンド・ゴルフの推進・展開はもう今まで十何年の歴史があります。上海は、まず拠点として発展して推進していくところなんですけれども、今のところでは、上海でも70ぐらいの、グラウンド・ゴルフの団体があります。上海をはじめ、中国のほかの県でも同じように推進しております。

今日は私たち3人が出席しておりますが、私、隣の2人の方なんですけれども、昔の中国の体育推進協会のスタッフなんです。中国の事情はとっても難しいと思うんですけど、まず大きいですから、とても複雑な状況にあります。そうすると、各所で各団体で加盟することになると、とってもやりにくいというふうに思っております。私の意見としては、中国の各所として加盟するではなくて、中国全体として1つの団体で加入するというふうに思っております。他の国も、1つの国は1つの協会というやり方のほうが、私はいいと思っておりますので、参考にしてください。

町 長 : ここで、日本グラウンド・ゴルフ協会長さんが、公務で退席されます。

(拍手)

中 国 : 国際連合機構を作るのはとってもいい考えだと思うんですけども、まず設立に当たり、町長さんたち、湯梨浜町のところで、どういうふうな連合組織と位置づけしているのでしょうか。私は、国際化に向けて推進して行くと思ったら、日本だけではなくて、やっぱり各国の参加はとっても重要だというふうに思っております。日本は、まず初めに、発起の先頭の国として、これからはたくさんの国が集まると言うのが、形として国際連合組織の一番いいやり方だと思います。

ですので、連合組織を設立するに当たり、会長や副会長などの人事とか、日本だけではなくて、他の国のことも入れたいほうが、将来的に国際の発展にいいというふうに思っております。国際連合組織について、私の意見は以上です。

また、これから中国のグラウンド・ゴルフの発展の情報をちょっと話をさせていただきたいなと思っております。今、とっても発展してるんですけど、これからは加速して発展して行くと思います。中国の各所で展開していこうと思ってるんです。でも、中国1つの団体、全体として統一して発展して行く。上海の今のグラウンド・ゴルフ協会は、初めに各所で先導して、また我々は中心として構成していくと思います。ですので、人口の大きさとか中国の複雑な状況を考えて、今後も中国でたくさんのそういう国際大会の開催をさせていただきたいなと思っております。

最後ですが、来年、上海も国際大会を行う予定ですけど、今ここにいる皆様も参加していただければ幸いです。

(拍手)

町 長 : はい。ありがとうございました。今お話がございましたように、先日の上海の大会でも、山東省からも体育大学の人たちが来られたのを拝見しておりまして、そのような形で、中国が1つの組織になっていくということは、私も歓迎すべきことだと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今日のこの連合のことについて、一応このひな形って言いますか、たたき台なんですけれども、それを示しましたのは、こういう格好で今決めちゃおうということではなくて、こういう形で決めることが想定できると、その際に、どう思われますかということをお伺いしたいということでございました。今の理事長の御意見もまた参考にさせていただいて、今後の協議の1つに加えればと思います。

韓 国 : 話がすごく長くなりましたけれども、さっきの世界グラウンド・ゴルフ連合っていう仮名称っていうのがありますけれども、この組織はとてもすばらしい組織と思っております。やはりその理由としては、湯梨浜町がグラウンド・ゴルフの発祥地でありますし、湯梨浜町長も大変グラウンド・ゴルフを愛しているし、すごく関心を持っているということがあります。いつもグラウンド・ゴルフ大会の主催者として、いろいろ支援ということが大変だと思っております。

国際組織と言え、その参加する国ごとによって人数がすごく差がありますよね。中国とか韓国とかになると、参加人数は多いし、他の国になると、人数がものすごく少ないんですよ。今このイメージの組織、事務局が湯梨浜町になっておりまして、会長が町長、こういうイメージ図がありますが、その中で、理事とか、それは規模が少ない方も理事としたらどうですか。それで、人口が少ない国、参加されている人たちを副会長とか、そんなふうにしたら、私個人としていいと思っております。

国際組織なので、さっきも日本グラウンド・ゴルフ協会長さんが退席される前に、今のこの6ページのこの組織は、日本グラウンド・ゴルフ協会が賛成して作ったんですかって話を伺ったところ、全くそうじゃなくて、今のこの大会の意見交換会を通じて、いろいろこう役目を決めますという話を伺いました。これが国際組織として、基本的なことではないかと思っております。以上です。

町 長 : ありがとうございました。貴重な御意見いただきました。

実は、1つは、会長に自治体の長になるのはいかがかという意見もあるようでございます。そういう御意見もあるんですけれども、ここに敢えて、とりあえず町長と入れておりますのは、ある程度期間が決まるまでは、町が担って進めて行って、それで、連合という組織がはっきりできれば、その中でまた構成員の国々の投票とかによって決めたいというのが筋になってくると思っております、そういう考え方で向かいたいというふうに思っているところです。

ス ペ イ ン : この国際組織を設立するに当たって、各国の事情がいろいろと違うと思えます。そこで、私の意見としては、現状で、各国で例えば1万人の人たちがプレーしている、他の国は500人がプレーしている、他の国だと20人、30人ぐらいし

かないというそういう事情の中で、やはり今の現状で、じゃ、みんなで一緒に国際組織を作りましょうというのは、不可能じゃないかと思います。

私が推薦する意見というのは、各国の事情をそれぞれ調整していただいて、その国が、まず国会みたいに、国会議員さんみたいに、自由党何人、左派何人、そういうふうに決めていかれるのはいかがでしょうかということです。

例えば、中国、韓国のように、プレーヤーが非常に多い国と、それから、スペイン、フランス、ポーランドのように、プレーヤーが少ない国の人たちの人数で、選出される人数の比率というのが変わってくるんじゃないかと思います。

それで、この国際組織を作るというもう1つの目的が、やはりお互い国際間の交流というのが非常に大事だと思います。その時に、2019年に、例えばポーランドが国際交流大会をしますという時、他の国も同じ時期になさるといって、やっぱりそういうダブってしまう、そういった調整も、ルールとか、いろんな部分がこれから話し合いされると思うんですけども、大会もやはりアジア大会、ヨーロッパ大会、こういったことの国際組織があれば、そこで決めていただければいいんじゃないかと思います。

ポーランド： この席、今日参加できて大変うれしく思います。グラウンド・ゴルフのスポーツをこれから発展させるためには、国際連合の必要性は一番大事なものであります。これは、ポーランドとして、皆さんの意見に賛成でございますので、何事でもポーランドは応援していきたいと思っております。国際連合を作る、作らない、必要性があるかどうかということではなく、まずは作りましょう。これを国際連合ができて、作ってからのいいところがたくさんありますので、これを生かして、いかにその場でどうやってそれを長続きさせて、たくさんの国の参加を増やすかということこれから解決していきたいと思っております。

町 長： はい。ありがとうございました。

モンゴル： モンゴルでは、ナショナルグラウンドゴルフ連盟を作りまして、下に各県に、人口が少ないですけれども、各県にナショナルグラウンドゴルフの組織を作っております。そして、グラウンド・ゴルフ国際連合を作るメリットは、カレンダーを作りまして、各国に、毎年どこで国際大会ができるかをまず調べるといっても1つのメリットでございます。そして、2018年7月28日から30日の2日間、モンゴルでアジア大会オープン大会を開催する予定でございますので、皆さん、積極的に御参加を願います。そして、モンゴル政府に働きかけまして、モンゴル政府主催のアジア大会を行いたいですけれども、これが国際連合ができてからの話になりますが、これがちょっと、困難してる話でございます。

あと、私個人としてチェコだとかポーランドとか通じて、各ヨーロッパの国々に、このグラウンド・ゴルフを広めることができます。そして、国際連合を作る、これは大変なことでありまして、この組織作りっていう大変な難しさがありますが、まずこの1つの協会、国際連合を作ることを賛成しております。

町 長 : 台湾さんお願いします。

台 湾 : 2021年のワールドマスターズゲームズ2021関西で、日本で初めてグラウンド・ゴルフが競技項目として加えられ、日本の大会で初めて行われるということで、とてもいいと思います。だから、今度のワールドマスターズゲームズ2021関西のグラウンド・ゴルフは、日本のルールで行われます。その後、この大会が終わってから、世界の組織を作る。そのほうがいいかもしれません。今もし、世界の組織を作るんだったら、作るまでの仕事が多くて、4年間では、時間が余り短いと思います。僕の経験上言うと、先に日本が主導して、以後、世界の組織を作ったりする、それを県がします。

町 長 : はい。ただ今、各国の意見をそれぞれ伺いました。団体さんの構成員の数、愛好者の数ですね、そういったものにも配慮しながら、という御意見もございましたから、負担金とか、そういう面では、恐らく決めていくに当たって、そのようなことも考えなければいけないと思っていますし、それから、役員国と言いますか、理事になっていただく国の選定については、やっぱりその人の数じゃなくて、地域性とか、そういったものも考慮しながら決めていくべきだというふうにも思っています。

そこで、今日いただきました皆さんの御意見を参考にして、私どものほうで、どういう形がいいのか、もう少し詳細に考えまして、次回の機会に提案させていただきたいというふうに思います。他に用具とか、あるいは、大会の開催の情報とか、そういったこともお話の中に出てきていますので、とりあえず、連合体の話は、これにて終わりにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(3) 用具について

町 長 : それでは、続きまして、用具の件が出ておりました。ポーランドの会長さんのほうから、用具を作るということでの御発言がございました。基本的には、この用具につきましては、今、幾つかのメーカーが作製して、それを日本協会が承認し、それが販売されているということでございますので、アシックスが直接その審査機関となって実施しておられるわけじゃありません。アシックスも製造メーカーの1つであるということ、基本的に認識していただけたらと思います。そして、日本協会は、用具の基準について、どのくらいの強度のものが必要で、どのくらいの大きさかというようなことについての技術基準は、すべからく公表しておりますので、また、会長さんのほうにその資料をお送りして、それで作る、自家製で作られるのなら、そのようなことで対応していただければありがたいと思います。

それで、今申し上げましたような原則から、これから国際協会ができれば、そこが審査機関となってやる。それは、実際上は日本協会に委託するという格好に

なろうかと思えますけれども、そのような格好でやっていくということですが、とりあえず今々、用具の入手に困っておられる国もある。そのことについて、ちょっと町のほうで、それぞれの用具について、送ったらどのくらいかかるかという試算をさせておりますので、そのことを御説明申し上げます。どうぞ。

生涯学習・人権推進課長： 失礼します。この用具についての資料をご覧くださいませでしょうか。1枚めくっていただきますと、カラーのページがあります。クラブの写真があります。次のページをめくると、またその用具の写真が載っております。それで、その一番最初のところにナンバーがありますから、そのナンバーが表の注文書の用具になります。それで、最後から2番目の段に、販売価格ということで、日本円の表示になりますが、それぞれの単価が記載をされております。

例えば、1番の『ライトウエイトクラブ』というクラブをご覧ください。日本には、消費税という税金がありまして、8%かかるわけですがけれども、このページに書いてある1万6,200円というのは、その税を含んだ価格となっております。それで、定価で1万6,200円で販売しているところを、湯梨浜町では税を含んで、1万3,000円で販売が可能だというのが、このおもての表の意味でございます。

それで、例えばですけども、日本でそれぞれの用具を購入していただいた時に、自分で持って、ハンドキャリーで持って帰る分には、税金等もほとんどかからないと思えますので、先ほどの金額で入手が可能だということになると思えます。

その他の方法として、日本から郵送するという方法もあると思えます。日本から郵送するときの料金につきましては、一番最後のページに記載をしております。この重さの区分によって、あるいはどこに送るか、どの地域に送るかということで、料金が変わってまいります。この金額は、あくまでも送るだけにかかる経費ということでありまして、それぞれ到着後には、それぞれの国の関税が適用される場合がありますので、そうした経費については、注文された方の負担ということでありまして、お送りすることができるということになります。

例えば、13番の『3段スライド8ホールセット』というのが、重さが11.2キロあるんですけども、これを日本から送るということになれば、アジア地域であれば1万2,100円、ヨーロッパであれば1万9,200円というような金額になります。あとは、それぞれの国の関税のルールに従って税金がかかるということになると思えます。

それで、今後につきましては、大会の御案内の際に、こうした注文書をあらかじめお送りさせていただきたいと思えます。もし、用具の購入を御希望ということであれば、こういう注文書に記載をさせていただいて、事務局のほうに寄せていただければ、それを取りまとめて発注をしておくというようなことが可能になると思えます。

町 長 : ということは、次の大会前までは送らないということですか。

生涯学習・人権推進課長： いや、希望があれば随時対応することは可能ですので、また御希望があれば、私どものほうにお知らせ願えればと思います。以上でよろしいでしょうか。

町 長： はい、ありがとうございました。ただいま用具のことについて説明がありました。金額的には販売しておられるところはかなり頑張っていたでいて、割り引いてもらっております。こうやって来ていただいた際に買って帰っていただくと、税金も、それから郵送料もかからないと、送料もかからないということで、随分、多少金額に差が出てくるということでございます。

注文されたい方がございましたら、今回帰られるときでも、明日からでもいいですし、湯梨浜町の事務局のほうに御連絡いただければ、ディーラーのほうに連絡をとってお返しいただくという格好にさせていただきたいと思っております。そういうことが1回でも2回でもできれば、もう直接その販売店のほうにお申し出していただくというようなことで、御協力願えればありがたいなと思います。

御質問等はございますか。よろしゅうございますか。なかなか時間も押してきました。どうぞ。

ス ペ イ ン： ポーランドの方の意見とスペインの意見が同一意見なんですけれども、この料金ですと、関税、お支払いする関税が非常に高くなって、これですと30%の関税アップ、持って帰る時に、正規に持ち込むと、その際かかってしまうのがヨーロッパの現状です。できたら、もうちょっと安くはならないんでしょうか。私たちがここで買って帰って、そして向こうの税関を通ると20%、これが関税、21%、これが付加価値税、これ絶対に払わないといけない料金になってしまいます。そうすると、Amazonとか楽天でも今売ってますけれども、ある程度の用具、そのほうがずっと安くなるんです。

町 長： なかなか、今御紹介した商品については、これが限界だというふうにも伺っております。あとの方法としては、もう少し安いランクのクラブを買うとか、そういう格好になってくるのではないかと思うんです、当たり前のことですけれども。副会長さん、そのAmazonのほうが安いということであれば、そちらで購入していただく格好かなと思います。

ス ペ イ ン： スペインの場合は、現在Amazonが一番多く利用しているようです。

町 長： Amazonの品物の信頼性は高いですか。

ス ペ イ ン： でも、やはり、50ユーロが30ユーロと本当に安いんですね。どうして安いのかって、これはアシックスさんに聞きたいんですが。後でAmazonに入ってみてください。グラウンド・ゴルフクラブが今、こんなにめちゃくちゃに。ただし関税は払ってらっしゃるんですね、受け取る時に、税関によりますけど。

町 長： はい、どうぞ。

中 国： 少し、製造メーカーと、そして町長さんに、私からアドバイスをしたいと思っております。今日我々が、ここで集まっている一番の目的は、これからグラウンド・ゴルフが世界中に発展していくということです。

まず私は、中国の事情をちょっと説明したいと思います。今はもう既に発展、たくさんの方がやっているんですけども、これからもっとももっとたくさんの方が参加して、もっとその市場が大きくなると思います。今の年齢層って言ったら、やっぱり高齢者がメインで、退職した方がグラウンド・ゴルフをやっていることが多いです。年寄りにとって、今見たその値段で、本当に納得できない値段です。私は、必ずこれがすごくいい品質、いい商品だと思っております。私の場合は、今度私も2セットを買いました。でも、私くらいの方が中国でそんなに多くないです。確定の統計のデータではないですけども、私個人で思うんですけども、中国で90%の人が、この値段で買えません。

中国全土では、今既に企業さんがこの道具を作っています。値段は、今の表示されている値段の20%です。でも、正直に言ったら、品質で言ったら、こっちのほうがいいです。でも、大きなそのグラウンド・ゴルフは、広く推進していく中で、やっぱり道具の普及は大きな問題、課題になっております。ですので、製造メーカーもこの問題を展開する時も、やっぱり片方だけで考えるのではなくて、いろいろな面を踏まえて、値段を決めたほうがいいと思います。

例えば、同じ製造メーカーなんですけれども、ブランドを2つ、3つ作って、その高級層とか、ちょっと低いランク、レベルを分けて値段を設定するとか。例えば、中国で大きな市場を持っている国に対して、中国で生産するとか、あるいは、中国の現地の企業さんと連携して生産するっていうのも1つの方法だと思っております。それは、本当に一石二鳥だと思います。1つはグラウンド・ゴルフの広く推進して行くのも達成できるし、もう1つは、企業としても市場を拡大行けると思っております。

ただ、私は、今回その大会に参加する代表団の団長でもあります。私は、もう既にその道具が中国の市場において重要性があると見ています。私は、本当に製造メーカーさんと話をしたいです。すごくいい値段で、品質もいいもので、中国の市場でどういうふうに、その市場を開拓していけるのか、その方法を本当に考えていきたいと思っております。そうでないと、中国の地元の企業が自分で作ることになるんです。そうすると、品質が悪い道具を使って、やっぱり結局、根本的にグラウンド・ゴルフの事業は大きくなることはできなくなるんですね。製造メーカーさんが、もし市場を開拓していくというふうに、そういう考えを持っているのであれば、僕は中国の現地において、その連携している企業になる、そのパートナーになる人になりたいです。ありがとうございました。

町長： ありがとうございます。確かに、今日はそのクラブの中でも一番最高級のものだけ例示として示させていただいておりますので、もっと安い商品ランクなどいろいろございますので、そういったものもきちんと幾らになるかを書いたものをお届けして、新たに、より安くいい商品を作るという努力も日本協会を通じて

メーカーのほうにもお願いしたりもしまして、そういう対応をさせていただきたいと思います。

また、今日のものよりも、もう1つ詳しい段階ごとに分かれたクラブの資料を送らせていただきます。それでは、この問題はこのあたりにさせていただきたいと思います。

(4) 各国における組織及び大会開催状況について

町 長 : 最後になりましたけれども、各国で開催される大会について、このたびお付けしておるような資料を作ってみました。何月にどこでどういう大会があるということを中心に、お互いがそれを知って、自らの見聞を広め、友好を深めながら、グラウンド・ゴルフを発展させていこう、各国の大会を発展させていこうという趣旨でございます。ぜひ皆さんもこれを御一読いただいて、また自分のところで、大会をいつするか、重なる場合もあるというお話もございました。そういうことですので、湯梨浜町としては、この情報をいただいたら必ずその日の情報として持っておくようにしたいと思います。

ですから、来年のいつ頃にしたいなと思われるところがございましたら、あらかじめ湯梨浜町にお尋ねいただいて、あそこはここが入ってますけど、とかいう情報を差し上げるようにしたいと思います。このような形で、お互いの大会の繁栄を促進してまいりたいと思います。

御意見ございますか、これに関しましては。

中 国 : すみません、今配った資料を見ていたところで、中国のところで、上海老人体育協会って書いてあるんですけども、この協会が、実は上海市でメンテを受けている協会なんですけども、実は今、我々はもう既に全国民での協会をつくっております。

とりあえず、この情報をみんな知っていただいて、その責任者もやっぱり同じで上海市の会長さんがなっておりますので、情報だけ提供します。大会の後、その名称、他の情報はまた提供させていただきます。

町 長 : ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。

5. 閉会

町 長 : では、以上をもちまして、本日の意見交換会は終了したいと思います。ちょっとお土産として、県と町のほうで準備しているものがありますので、お渡ししたいと思います。

1つは、このグラウンド・ゴルフ手ぬぐいという商品ですけれども、これはもうお手元にお配りしていると思います。袋の中に入れてあると思います。グラウンド・ゴルフで汗をかかれた時に、このタオルで、手ぬぐいで拭いていただければというものでございます。湯梨浜オリジナルです。

それと、この新しいグラウンド・ゴルフのボールですけど、今日の御出席の団体に10個ずつお配りしたいと思います。県と協力してプレゼントさせていただきますので、代表者の方にお渡しさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、皆さん、明日もまた元気にグラウンド・ゴルフをお楽しみください。
御参加、本当にありがとうございました。

一 同 : ありがとうございました。